

令和7年度 北新庄地区地域振興計画

1. 地区の現状(主な出来事のみ)

1) 地区の歩み

- ・ 歴史的：明治22年(1889年)・北新庄村、昭和29年(1954年)旧武生市と合併
集落内には狭隘部分(総延長3.8km)が多く残されている。
- ・ 北新庄地区自治振興会設立(平成16年)
- ・ 北新庄小学校校舎改築(平成19年)
- ・ 電田ひろば造成(平成20年)
- ・ つながる農縁造成(平成22・23年)
- ・ 戸谷・片屋線全線開通(平成25年7月)
- ・ 自治振興会設立後10年を経過した平成25年に「10周年記念事業」実施
- ・ 小学校屋内運動場改築竣工(平成26年8月)
- ・ 新幹線対策協議会設立(平成26年10月)
- ・ 原子力災害に伴う県外避難場所が町内ごとに決定される。(平成27年)
- ・ 児童館竣工(平成27年3月)
- ・ 福井国体が開催され、おもてなし、ふるまい事業に参加(平成30年)
- ・ 令和2～4年度 新型コロナウイルスの影響・対策にて事業自体が中止・変更を
余儀なくされる。令和5年度より徐々に活動に戻る。
- ・ 令和6年 北新庄小学校学習発表会において「創立100周年記念事業」開催

2) 地区の現状

- ・ 北新庄地区は、越前市の中央部に位置し、人口は令和7年4月1日現在
862世帯 2,576人 総面積 6.86km²
- ・ 令和6年4月1日北新庄地区高齢化率(65歳以上)は30.37%に達している。
進捗度合いは、市17地区で下から6番目である。市全体の平均29.73%
一人暮らし高齢者の数は市全体で4,414人。北新庄地区では88名。
10年前の約2倍で年々微増傾向である。
- ・ 各町内において新興団地が微増している。
- ・ 各町内(旧村部)において空き家が増えてきており、空き家率は概ね全体の3%
～5%にのぼる。

3) 社会の現状

- ・ 少子、超高齢化社会を迎えている。平均寿命は年々伸びてきており男性81.47歳、
女性87.57歳。一方平均健康寿命(2022年データ)は男性72.57歳、女性75.45歳
で平均寿命と10年近くの差(男性8.49歳、女性11.63歳)がみられる。
- ・ 東日本大震災後、北海道胆振東部地震、西日本豪雨、令和2年東日本台風、令和
4年に入っても各地で地震があり多くの自然災害が勃発している。
- ・ 国の宝である子供達が被害者になる犯罪が急増している。
- ・ お年寄りをターゲットにした詐欺・犯罪が増加している。
- ・ 平成31年度の4月より外国人労働者の受け入れ枠の拡大が始まる。

- 平成31年4月1日新元号『令和』と発表。5月1日新天皇即位、令和時代幕開け
- 令和2年に入り新型コロナウイルス感染症が発生。日本全国に蔓延し社会のリモート化はじまる。「東京オリンピック・パラリンピック2020」は1年延期で開催し好成績に終わる。
- 令和6年1月能登半島地震で大打撃。3月16日に北陸新幹線（金沢―敦賀間）が延伸開業、「越前たけふ」駅周辺の官民連携プロジェクトも進行中、NHK 大河ドラマ「光る君へ」で、のちの紫式部が暮らした街として越前市の観光業も活気。

4) 住民自治の取り組み状況

自治振興会の現在までの取り組み(主なもの)

- 平成16年3月28日、自治振興会設立総会を開催「平成16年度北新庄地区地域振興計画」を承認
- その後、部の増設を行い、新規事業、特別事業に取り組み、各種事業を行ってきた。
- 21年度電田ひろばと堤防道路をつなぎ、地区を縦断する遊歩道として整備を開始した。
- 電田ひろばは、19年の事業開始以来3カ年をかけようやく22年度一応の完成を見た。
- 新しい地域コミュニティのあり方を模索するなかで、22年度から特別事業として「コミュニティ維持事業」にとりくみ、共同農園の開設、のろっさ乗車促進運動・停留所の整備・アンケート調査などを2カ年にわたって行った。
- 財団法人「自治総合センター」の「宝くじ普及広報費」を財源とする助成金を受け、各種行事の際に着用するユニフォーム（夏・冬用）、法被各50着および文化祭・納涼祭の舞台照明用スポットライトの整備を行った。
- 24年度から、従来公民館が行ってきた「社会教育」を自治振興会の基礎事業として実施することとし組織改正・会則改訂を行い移行した。
- 25年度、自治振興会設立10周年を記念し特別事業を実施した。ファミリーエンジョイ駅伝大会およびウオーラリー、地区内名所・旧跡標示看板設置（34か所）、旧地名看板設置、「ふるさといろはカルタ」を制作・発行した。
- 25年度から、児童館が完成までの間、増加する学童保育児の受け入れ施設として公民館を供用してきた。
- 平成25年度、北新庄青年部が結成された。（青年団が消滅してから約20年が経過）
- 発足時からの念願であった児童館の完成を見た。
- 加藤明堂氏からの寄付金を使用し、児童館の新設に合わせ、児童館入口脇にタイムカプセル収納棚を設置した。
- 学校農縁運営事業を新たに始めた。
- 平成27年5月号から広報をカラー化した。ふるさとマップ改訂版発行。
- 平成27年、町内防災活動に役立てるため、デジタルトランシーバーを追加配置した。（平成22年度に1台ずつ配置してあった）
- 平成27、28年度地域ミーティングの開催を見送った。
- 平成28年度に特別事業として第二次三里山整備を行った。
- 介護保険制度改正に伴い、平成28年10月、自治振興会社会福祉部に生活支援コーディネーター（協議体）を設置した。
- 平成29年度に福祉推進員対策事業の創設が行われ福祉推進委員11名を委嘱。

- 平成29年地区内において北陸新幹線工事着手。平成30年4月工事概要等について説明会開催。
- 平成31年4月に北陸新幹線、地区内の工事進捗状況の説明会を開催。
- 当市は製造業種が多いため、外国人が多く定住している。このことから市では多文化共生の地域づくり推進プランを平成30年度に策定。
- 子供達が被害者となる犯罪が急増している為、福井県警察本部より各自治振興会に対して、犯罪抑止の観点から防犯カメラの設置要請があった。
- 令和元年度に防犯カメラの設置に伴うプライバシー等、住民の理解を得る為、学習会を実施。その後、防犯カメラを通学路に設置した。(2ヶ所)
- 令和2年度に地区南側に防犯カメラ6台を増設した。
- 令和3年度に地区北側に防犯カメラ6台を増設した。
- 令和3年9月 “ささえ愛 北新庄” 活動開始。
- 令和5年7月「2023地域ミーティング」開催、山田賢一市長により総合計画チャレンジプロジェクトの説明。

2. 地区の課題(今後の課題も含む)

通常の催事も必要であるが、地域の安全・安心の推進から近年の自然災害や超高齢社会に対応できる自治が求められている。

● 早急な防災体制の整備

- ① 地区の防災避難計画マニュアルの作成。
- ② 各町内での避難、防火訓練実施を啓発。
- ③ 災害時の心理的安心感を得る為には、幾度もの訓練を積み重ねる必要がある。
(第一次避難場所及び広域避難場所での訓練実施)

● 地区に住む生活弱者や外国人への支援体制の強化

体力的に衰えがある人、認知症のある人、障害を持つ人、高齢で一人暮らしの人、に対して、通常の生活に支障が無いような施策が求められる。基本は身内、親戚が助け合うことが第一。核家族等で支え合う事が出来ない場合、町内の隣近所で支え合う。例として〇ごみ出し、〇買い物、〇玄関まわりの除雪等今後、自治振興会として、どのような体制作りが必要か議論し、将来に向けたシステム作りを構築する。(生活支援推進事業)

※ 自治振興会の基盤体制の強化

- ①地区の課題を皆さんと一緒に協力して推進出来るように組織の強化を図る。
- ②高齢者を支える側(民生児童委員、福祉推進委員等)の体制整備

※ 自助、共助(近助)の推進(大災害時には公助はあてに出来ない)

日頃、家族間のコミュニケーション、地域コミュニティを大切する。

- ③外国人との共生社会を目指し、災害時や生活環境に必要となるコミュニティの円滑化を図る。

● 犯罪のない明るい地区の推進

- ① 新幹線や道路網の整備により、外部から地区への人の流れが容易となり、空巢などの防犯対策が求められる。(令和7年3月北新庄駐在所が統廃合により廃止、3月中旬新幹線越前たけふ駅前交番 新設)

- ② 登下校時のこども見守り隊の充実強化。
 - ③ 家族間のコミュニケーションを大切にする。
 - ④ 区長会と連携し学校周辺や各町内に防犯カメラの設置を推進する。
- 降雪期に路上駐車をしないマナーが必要。一方、各町内の狭隘道路や高齢者（障害者を含む）が住む家屋の除雪は積極的に共助で行う。出来ないときは予め指定した町内の事業者さんに依頼。その為には日頃のコミュニケーションが大切。
 - 空き家については、防火、防犯、雪害対策として、見廻りを強化していく。
 - 健康平均寿命の延伸対策
高齢者の不健康期間、約10年を短縮できるように各種施策を講じる必要がある。
 - 越前市地域防災計画（原子力災害対策編）住民避難計画の骨子が制定された。今後、市の詳細な計画に合わせ地区として対応していく。

3. 地区の将来像、目標

平成20年度から自治振興会、区長会と連携した「創造会議」の中でキャッチフレーズ「どうせ住むなら生き生き、わくわく北新庄」に決定
 「地区の住みよい環境を作り、維持するためには、行政が何をしてくれるかではなく、住民一人一人が地区のために何ができるかを考え行動し、結果として、これからもこの地区に住もう、どうせ住むなら豊かで楽しいこの地区がいい」という人が増えてくると思う。

基本目標として6つのことを掲げます。

- ① 安全・安心の向上
- ② 豊かな自然環境とのふれあい
- ③ 人の交流の活性化
- ④ 歴史の継承と文化の向上
- ⑤ 体力づくりの向上
- ⑥ 地域コミュニティの向上

4. 具体的施策の提示

基本目標のもと、本年度事業は別紙のとおりとします。

5. 事業予算

別紙：「令和7年度北新庄地区自治振興会 事業計画一覧」および「令和7年度北新庄地区地域振興事業 収支予算書」のとおり

（参考資料）

令和7年度北新庄地区の主な事業・行事の実施時期について

北新庄地区自治振興会のホームページURL（新）<https://kitashinjo.com/>

(第4号議案)

地域自治振興計画 3年(R7-R9)

北新庄地区自治振興会

各部・事業名(事業省略)	(単位千円)		○継続事業		
	R5決算	R6決算	R7年度	R8年度	R9年度
青少年育成部	389	739			
11 学校農園事業	54	54	○	○	○
12 親子スケート事業	0	0	○	○	○
13 不良行為防止・青少年啓発事業	60	63	○	○	○
14 地区納涼祭事業(北新庄フェスティバル)	264	604	○	○	○
15 イルミネーション事業	0	9	○	○	○
16 小学校周辺除雪事業	4	5	○	○	○
17 タイムカプセル事業	7	4	○	○	○
保健部	199	194			
21 健康づくり事業	134	105	○	○	○
22 健康ウォーキング事業	25	75	○	○	○
23 健康体操教室事業	40	14	○	○	○
体育部	522	464			
31 地区体育祭事業	344	369	○	○	○
32 ファミリーエンジョイ駅伝大会(ウォークラリー)	82	0	○	○	○
33 ソフトバレーボール大会事業	45	44	○	○	○
34 卓球大会事業	51	51	○	○	○
社会福祉部	946	863			
41 世代間ふれあい交流事業	6	18	×	×	×
42 敬老会事業	472	401	○	○	○
43 配食サービス事業	79	76	○	○	○
44 高齢者福祉事業	178	167	○	○	○
45 福祉ネットワーク・在宅福祉事業	70	70	×	×	×
46 高齢者交流事業	40	77	○	○	○
47 高齢者福祉用施設設備事業	15	24	○	○	○
48 高齢者外出支援事業	86	30	○	○	○
安全防災部	283	338			
51 防災訓練事業	30	30	○	○	○
52 交通安全・防犯防災広報事業	225	281	○	○	○
53 降雪時消火栓確保・ホース日常点検管理	0	0	○	○	○
54 防犯巡回・防犯点検診断・年末警戒	0	0	○	○	○
55 防災資機材点検補修事業	8	17	○	○	○
56 防犯灯増設助成事業	20	10	○	○	○
生活環境部	163	62			
61 ふるさと大鍋大会事業(北新庄フェスティバル)	134	58	○	○	○
62 電田ひろば維持事業	29	4	○	○	○
63 菊美道理整備事業	0	0	○	○	○
文化教養部	145	201			
71 文化祭ふれあい事業(北新庄フェスティバル)	65	124	○	○	○
72 「ふるさといろはかるた」贈呈事業	0	0	×	×	×
73 文化講演会事業	0	11	×	×	×
74 ふれあいコンサート事業	80	50	○	○	○
75 市川新松顕彰会支援事業		16	○	○	○

各部・事業名（事業省略）	R5決算	R6決算	R7年度	R8年度	R9年度
自治部	575	1,041			
81 河川環境美化推進事業	206	206	○	○	○
82 防犯灯電気料補助事業	81	81	○	○	○
83 狭わい道路除雪交付金事業	238	714	○	○	○
84 基本計画策定事業	50	40	○	○	○
協働公民館部	489	477			
91 社会教育講座開催事業	345	273	○	○	○
92 青少年活動支援事業 成人式バス	44	55	○	○	○
93 ふれあいたまり場事業 寄せ植え	14	89	○	○	○
94 地産地消拡大事業 味噌作り	86	60	○	○	○
企画広報／事務局	3,555	2,984			
101 自治振興会運営事業	659	521	○	○	○
102 広報誌発行事業	496	499	○	○	○
103 事務局事務委託事業	360	360	○	○	○
104 夜間照明活用維持事業	20	0	○	○	○
105 施設利用料	0	10	○	○	○
106 事務局拠点整備事業	467	24	○	○	○
107 自治会保険事業	199	200	○	○	○
108 快援隊事業	412	443	○	○	○
109 公民館除雪事業	11	17	○	○	○
110 生活支援推進事業	741	498	○	○	○
111 役員手当等	190	190	○	○	○
生活支援推進事業 還付金	0	222			
決算額合計	7,266	7,363			
積立基金残高(夜間照明修繕準備)	278	278			